

ボラ

大寒 小寒

山から小僧が泣いて来た
なんていつて泣いて来た
寒いといつて泣いて来た

最近はあまり見かけないが筆者の
子どもの頃、空つ風に吹かれて涙(ほ
な)水を垂らしながらよく遊んだも
のである

昼過ぎに遊びはじめると風が一段
と強くなり、夕暮れどきになつても
風はなかなか止まずに寒い思いしか
記憶が残っている。赤城おろしや上
州おろしの強い風が吹く時は、日本
海側は大雪を落して上越国境の山々
がくつきり見えるそうである。青い
空がより澄んで夕方には東京でも富
士山が夕焼けの中に浮かびあがつて
一層寒さを感じさせる。

冬の季節に山から吹いて来る冷た
い風(おろし)の風をボラと呼んで
ある。いまもなお内戦が続いている
旧ユーゴスラビア連邦のクロアチア
の内陸から海岸沿いに走る山脈を越
えて吹き下ろす冷たい北西の強風の
ことで、ヨーロッパアルプスの暖かい
南よりの強風のフェーンと対をなし
ている言葉である。フェーンもボラも

おなじ山越えの風だが、吹きだす前
からみて気温が上がればフェーン、下
がればボラとなる。内戦で厳しいと
ころにボラの追い討ちがかかるよう
なもので、フェーンの南より風が待ち
どうしい。

嵐は局地風で地方独自の呼び名が
ある。四国のやまじ風や清川ダシは
南よりの風でフェーン型となり、琵琶
湖付近の比良八荒や六甲おろし、関
東地方のオロシの多くはボラ型とな
る。シベリヤ生まれの寒波が吹きだ
せば、それ以前の気温より低く、乾
燥した空つ風は体感温度では、その
時の気温以上に寒く感ずる。冬の北
西季節風でおこる嵐は当然のことな
がらボラとなる。

大寒

小僧

（つた素晴らしいがある。
村松 照男）